

県公安委員長に就任

「県民の良識を代表して警察を管理する立場。公正かつ誠実に役目を果たしたい」。今月開かれた就任会見でこう抱負を述べた。

昨年全国1位だった特殊詐欺の摘発率や、過去2番目に少なかった交通事故死者数などを挙げ、県警の取り組みを評価。一方で、増えている空き家の侵入窃盗や太陽光発電所での銅線盗などを課題に挙げる。

昨年11月に大前駐在所(嬭恋村)を訪問。若し警察官と言葉を

交換し、少数で広範囲を管轄する山間部の現状について理解を深めた。事故や

この人

竹内 健さん(77)

事件にいち早く対応するには何がよいか。「安全があつて、安心が確保できる。まずは警察官1人1人が安全に活動できるように」と強調し、県警職員の健康状

態や勤務環境への配慮に心を砕く。2019年から約3年間、県教育委員を務めた。児童生徒が1人1台の学習端末を使うようになるなど、県民が個人情報や盗まれるリスクが増す中、県警が力を入れるサイバー犯罪対策にも高い関心を寄せると。時に人権を大きく制限す

警察官の安全 心砕く



る警察権が、適切に行使されているかをチェックする公安委員会。相次ぐ職員の高齢や捜査書類の廃棄を促す内部文書が問題視されている他県警についての論評は避けたが、「どんな会社や組織でも、あるべき所にあるべき物があること。内部監査が大切」と言葉に力を込める。

(金子雄飛)

たけうち・けん ソフトウェア開発のマクロ社長。高崎経済大後援会代表理事、県法人会連合会理事などを務める。同大卒。元高崎市教育委員長。1日付で県公安委員長に就任。高崎市中豊岡町。